

第 5 6 期（2024 年度）事業報告

本会が第 5 6 期（2024 年 3 月 1 日～2025 年 2 月 28 日）に行った事業は次のとおりである。

I. 事業状況

- ① 研究発表および学術講演会の開催（定款第 4 条 1 号）
- 第 63 回航空原動機・宇宙推進講演会/北部支部 2024 年講演会ならびに第 5 回再使用型宇宙輸送系シンポジウム
開催日 2024 年 3 月 13 日～15 日
場 所 かでる 2.7（札幌市）
 - 第 55 期定時社員総会および年会講演会
開催日 2024 年 4 月 18 日、19 日
場 所 &BIZ conference（東京）
 - 第 56 回流体力学講演会／第 42 回航空宇宙数値シミュレーション技術シンポジウム
開催日 2024 年 7 月 3 日～ 5 日
場 所 鹿児島県民交流センター
 - 第 66 回構造強度に関する講演会
開催日 2024 年 7 月 31 日～ 8 月 2 日
場 所 サンメッセ鳥栖（佐賀県鳥栖市）
 - 2024 年度「空の日・宇宙の日」記念特別講演会
開催日 2024 年 9 月 3 日
場 所 航空会館（東京）
 - 国際航空科学会議 ICAS2024
開催日 2024 年 9 月 9 日～13 日
場 所 フィレンツェ（イタリア）
 - 第 20 回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト
開催日 2024 年 9 月 21 日～23 日
場 所 日本工学院アリーナ（東京）
 - 第 62 回飛行機シンポジウム
開催日 2024 年 10 月 16 日～18 日
場 所 アオッサ福井（福井市）
 - アジア太平洋航空宇宙技術国際シンポジウム 2024（APISAT-2024）
開催日 2024 年 10 月 28 日～30 日
場 所 アデレード（オーストラリア）
 - 第 68 回宇宙科学技術連合講演会
開催日 2024 年 11 月 5 日～ 8 日
場 所 アクリエ姫路（姫路市）
 - 第 29 回スカイスポーツシンポジウム
開催日 2024 年 12 月 7 日
場 所 東海大学品川キャンパス（東京）

さらに、日本航空宇宙学会主催の支部関連の行事を次のとおり行った。

- 北部支部 2024 年講演会ならびに
第 5 回再使用型宇宙輸送系シンポジウム 2024. 3. 13～15 （北部支部主催）
- 西部支部第 52 期支部総会・特別講演会 2024. 3. 19 （西部支部主催）
- 中部支部第 67 期支部大会及び特別講演会 2024. 3. 29 （中部支部主催）
- 関西支部第 70 期総会・特別講演会 2024. 4. 12 （関西支部主催）

以上のほか、関連学術団体との共催講演会等を次のとおり行った。

- 安全工学シンポジウム 2024 2024. 6. 26～28 （本会共催）
- ATM/CNS に関する国際ワークショップ 2024 2024. 11. 19、20 （電子航法研究所との共催）
- 第 32 回衛星設計コンテスト 2024. 11. 23 （日本機械学会他との主催）
- 第 67 回自動制御連合講演会 2024. 11. 23、24 （計測自動制御学会他との主催）

② 会誌その他図書の刊行（定款第 4 条 2 号）

- 学会誌「日本航空宇宙学会誌」を次のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数	発行年月日	巻	号	発行部数
2024 年 3 月 5 日	72	3	3,400 部	2024 年 9 月 5 日	72	9	3,400 部

2024 年 4 月 5 日	72	4	3,400 部	2024 年 10 月 5 日	72	10	3,400 部
2024 年 5 月 5 日	72	5	3,400 部	2024 年 11 月 5 日	72	11	3,400 部
2024 年 6 月 5 日	72	6	3,400 部	2024 年 12 月 5 日	72	12	3,400 部
2024 年 7 月 5 日	72	7	3,400 部	2025 年 1 月 5 日	73	1	3,400 部
2024 年 8 月 5 日	72	8	3,400 部	2025 年 2 月 5 日	73	2	3,400 部

- ・和文論文集「日本航空宇宙学会論文集」を J-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム）によるオンラインジャーナルとして、次のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行年月日	巻	号
2024 年 4 月 5 日	72	2	2024 年 10 月 5 日	72	5
2024 年 6 月 5 日	72	3	2024 年 12 月 5 日	72	6
2024 年 8 月 5 日	72	4	2025 年 2 月 5 日	73	1

- ・国際論文集“Transactions of the Japan Society for Aeronautical and Space Sciences”を J-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム）によるオンラインジャーナルとして、次のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行年月日	巻	号
2024 年 3 月 4 日	67	2	2024 年 9 月 4 日	67	5
2024 年 5 月 4 日	67	3	2024 年 11 月 4 日	67	6
2024 年 7 月 4 日	67	4	2025 年 1 月 4 日	68	1

- ・和文オンラインジャーナル誌「航空宇宙技術」を J-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム）に随時発行した。
- ・英文オンラインジャーナル誌“Transactions of the Japan Society for Aeronautical and Space Sciences, Aerospace Technology Japan”を J-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム）に随時発行した。
- ・航空宇宙工学テキストシリーズ「軽量構造力学」を刊行した（2024 年 9 月）。

③ 研究および調査（定款第 4 条 3 号）

- ・航空宇宙ビジョンの維持改定および広報活動を行った。
- ・航空宇宙の新分野の研究を行った。

④ 関連学会等との連絡および協力（定款第 4 条 4 号）

- ・関連学術研究団体の行事に協力し、講演会等の事業を協賛・後援し、連携強化に努めた。

⑤ その他目的を達成するために必要な事業（定款第 4 条 5 号）

- ・第 33 回（2023 年度）日本航空宇宙学会賞を次のとおり表彰した。
論文賞（2 件）：「先進グリッド構造の低熱膨張設計手法の開発」
松本 迪斉，関根 一史，久米 将実（三菱電機株式会社）
「回転翼の効率向上のための引張-ねじりカップリング特性を用いたねじり角の受動制御」
鈴木 雄士，青木 隆平（東京大学）
技術賞〔基礎技術部門〕（2 件）
「航空機被雷危険性予測技術」
吉川栄一，神田淳（JAXA）
「滑走路雪氷モニタリングシステム技術」
神田淳，守田克彰（JAXA），館山一孝，原田康浩（北見工業大学），大前宏和，三宅俊子（センテシア株式会社），佐藤裕司（三菱電機ソフトウェア株式会社）
奨励賞（3 件）：宮園晃輝（九州大学大学院）「フラットスピンを用いた小型固定翼無人機の定点垂直着陸法の基礎研究」
石原一輝（IHI）「Visualization and Performance Evaluation of a Liquid-Ethanol Cylindrical Rotating Detonation Combustor」
永田貴之（東北大学大学院）「Schlieren Visualization and Motion Analysis of an Isolated and Clustered Particle(s) after Interacting with Planar Shock」

- ・第 2 号航空宇宙技術遺産を次のとおり表彰した。

複合材コキュア一体成形主翼構造技術
民間超音速機実現のための空気抵抗低減設計技術実証（NEXST-1）
戦後初の国産旅客機 YS-11
PS-1 飛行艇の STOL 技術と耐波性技術
準天頂衛星と静止衛星による高精度衛星測位システム
ソーラー電力セイル航行技術実験機 IKAROS
日本の固体ロケット技術の礎を築いたペンシルロケット

数値風洞

- ・第 3 号航空宇宙技術遺産の認定を行った。
- ・2024 度日本航空宇宙学会賞の選考を行った。（従来の論文賞、技術賞、奨励賞に加え、新しく宇宙ビジネス共創アワードを設け、選考した。）
- ・第 24 回（2024 度）日本航空宇宙学会学生賞の受賞者を決定し、受賞者表彰を行った。
- ・月刊メールマガジンの会員向け刊行や X（旧 Twitter）での情報提供など、会員サービスの向上に努めた。

以上に加えて、今期の特筆すべき活動として以下のような事業を遂行した。

- ・2024 年 6 月に学会 Web サイトのサーバーを更新した。
- ・中学生からジュニア会員になれるよう定款を改定し、講演会での中高生などの若手の発表を促した。
- ・年会講演会と定時社員総会の同時開催を見直し、年会講演会を刷新すべく開催準備を行った。
- ・近年大規模化が著しい宇宙科学技術連合講演会のあり方について検討を行うため宇科連改革委員会を設置し、対策を提案した。
- ・理事会と各支部との交流をはかるべく支部長との会談を行い、今後の連携についての検討を行った。
- ・部門の再編の是非を検討すべく、部門へのアンケートを実施し、それに基づいて再編に関する議論を開始した。
- ・会計業務の一部を外部委託する等、事務局労働環境の整備を行った。

II. 会議等に関する事項

- (1) 理事会
第 56 期(2024 年度)の理事会は、2024 年 4 月 19 日(金)に開催された第 627 回理事会から、2025 年 3 月 26 日(水)に開催された第 640 回理事会まで、計 14 回開催した。
- (2) 代議員
第 57 期代議員は、正会員による選挙を行った。
- (3) 社員総会
第 56 期(2024 年度)定時社員総会を 2025 年 4 月にオンラインで開催することを決定した。

III. 会員の異動状況

	正会員	内・永年会員 フェロー会員	学生会員	名誉会員	ジュニア 会員	賛助会員 (個人・団体)	支部賛助会員 (個人・団体)	個人会員計 (除賛助会員)
今期末 2025 年 2 月 28 日現在	3,398 名	(284 名) (172 名)	1,287 名	53 名	220 名	0 名 73 団体	0 名 64 団体	4,958 名
前期末 2024 年 2 月 29 日現在	3,307 名	(290 名) (167 名)	998 名	53 名	75 名	0 名 71 団体	0 名 62 団体	4,433 名
増減数	91 名	(△6 名) (5 名)	289 名	0 名	145 名	0 名 2 団体	0 名 2 団体	525 名

IV. 役員等に関する事項

職 名	氏 名	担 当 職 務	現 職
会 長	中須賀 真一	代表理事 (法人統括)	東京大学 教授
筆頭副会長	澤井 秀次郎	代表理事 (会長補佐)	宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 教授
副会長	福永 美保子	業務執行理事 (会長補佐)	IHI エアロスペース 主幹
庶務理事	小泉 宏之	業務執行理事 庶務 (筆頭)	東京大学 大学院新領域創成科学研究科 准教授
同	内海 政春	庶務 (北部)	室蘭工業大学 航空宇宙機システム研究センター 教授
同	杵淵 紀世志	庶務 (中部)	名古屋大学 大学院工学研究科 航空宇宙工学専攻 准教授
同	岩佐 貴史	庶務 (関西)	大阪公立大学 大学院工学研究科 航空宇宙海洋系専攻 教授
同	下田 孝幸 (併任)	庶務 (西部)	崇城大学 工学部 宇宙航空システム工学科 教授
同	金崎 雅博	庶 務	東京都立大学 システムデザイン学部 航空宇宙システム工学科 教授
同	小川 美奈	庶 務	宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 主幹研究開発員
同	山浦 由起子	庶 務	IHI エアロスペース 宇宙開発利用技術部 主幹
同	中北 和之	庶 務	宇宙航空研究開発機構 航空技術部門 基盤技術研究ユニット ユニット長
同	田中 宏明	庶 務	防衛大学校 システム工学群 航空宇宙工学科 教授
会計理事	桜井 誠人	会 計	宇宙航空研究開発機構 研究開発部門 研究領域主幹
同	船瀬 龍	会 計	宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 教授
広報理事	和田 豊	広 報	千葉工業大学 工学部 機械電子創成工学科 教授
編集理事	下田 孝幸	編集 (会 誌)	崇城大学 工学部 宇宙航空システム工学科 教授
同	野々村 拓	編集 (論文集)	名古屋大学 大学院工学研究科 航空宇宙工学専攻 教授
監 事	伊藤 健	監 査	宇宙航空研究開発機構 航空技術部門 航空プログラムディレクタ
同	佐宗 章弘	監 査	名古屋大学 大学院工学研究科 教授

以上